

指定管理者の期末モニタリング

施設名	学童保育所 かえで児童クラブ	年度	平成29年度
指定管理者	特定非営利活動法人 宮代町かえで児童クラブ	担当課	福祉課
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	期別	第3期
施設の目的	両親等の就労等により保育が必要な児童に対し、保護者に代わり保育することにより、児童の健全な育成を図ることを目的とする。		
業務の内容	(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関すること。 (2) 入所の承認及び承認の取消しに関すること。 (3) 保育料の徴収に関すること。 (4) 施設及び設備の維持管理に関すること。		

総合的な評価	
【総合評価】	A優良0 B適正14 C改善0
2学童体制による固定した少人数保育で児童が安心して過ごすことができ、また、常勤指導員が1名増員したことにより保育が安定し、無理のないシフトでの勤務が可能となっている。保護者との関わりが深いことから、ニーズの把握・反映しやすい環境となっている。	
【評価事項】	
・震災対策等において、学校や関係機関との連携により、対応について確認ができていることから保護者に安心感を与えることができています。 ・学童だよりの関係機関へ配布や近隣の保育園・老人施設訪問などを行うことにより、地域密着型の運営に取り組んでいる。	
【改善事項】	
利用児童数に合わせた職員配置による効率化と、一層の保育向上を図ることを期待している。	
1. 施設の管理運営・事業	評価 B 適正
2学童運営体制で運営を行い、開所予定日すべて滞りなく、学童保育運営を実施している。年間を通して指導員・児童とも学童間の異動をせず、固定して関わることで子どもたちの心理的なフォローなど細やかな指導を行っている。	
2. 利用者の公平確保	評価 B 適正
入所については、宮代町の学童保育入所申請基準に準じ就労証明書等を添付した申込書の提出に対して、外部有識者を交えた入所審査委員会にて入所審査を行い、また継続入所児童についても就労証明書等の確認を行っている。 保育料免除の手続きは父母会にて告知し、申請漏れのないよう指導されている。	
3. 職員の配置、研修等	評価 B 適正
常勤職員1名増員で各クラブとも常勤職員が2名配置となり、『埼玉県放課後児童クラブ運営基準』に則る適正な運用となり安全・責任面での課題が解消された。パート指導員も加え各クラブ4名体制で保育を行っている。 職員研修は、障害児の受け入れに対して当クラブ職員で研修会を企画、具体的な対応を学び、また、埼玉県学童保育連絡協議会主催の研修会等へ積極的に参加している。放課後児童支援員認定資格研修を3名受講し、支援員の認定を受けている。 職員の健康診断については、常勤指導員と1年以上継続しているパート指導員に対して人間ドック受診の補助を行っている。	

4. 施設の維持管理業務(清掃、植栽管理など)及び保守点検	評価	B 適正
<p>学童の清掃は、指導員が毎日実施しており、また、外側溝やエアコン清掃などは、宮代町シルバー人材センターに委託するなど適切に管理されている。</p> <p>毎日、業務前に指導員による施設内点検を行っている。</p> <p>地震発生時に備え家具の固定等を行い、安全確保に努めている。</p>		
5. 施設の修繕	評価	B 適正
<p>施設に不具合があった場合には、福祉課に相談している。また、軽微な修繕はクラブで対応している。</p>		
6. 備品管理	評価	B 適正
<p>宮代町かえで児童クラブで購入する備品、備品台帳にて管理している。今年度は、パソコン(2008年製)がセキュリティサポート終了のため購入し、台帳にて管理している。</p>		
7. 安全・危機管理	評価	B 適正
<p>昨年度に災害時の緊急対応について小学校管理職と合意した内容を今年度も対応するため指導員間で確認し、保護者にも書面にて周知を行っている。</p> <p>避難訓練は、宮代町消防署に依頼・実施し、管理責任者・防火責任者は、常勤指導員2名で分担して務めている。大災害時の連絡方法は、保護者への連絡は「災害用伝言ダイヤル」「災害用伝言板」を用いて行うこととし、また、「災害用伝言ダイヤル」を用いた訓練を実施している。</p>		
8. 個人情報の管理	評価	B 適正
<p>個人情報については鍵のかかるロッカーに保管し、特定の者のみ閲覧としている。個人情報等を破棄する際には、情報漏洩がないようにシュレッダー処理し、父母会の名簿などの取り扱いに十分注意するように、周知徹底を図っている。</p>		
9. 利用者ニーズの把握・反映	評価	B 適正
<p>毎月、父母会を開催し、保育内容の報告を行うとともに要望等を確認しており、学年別懇談会も開催している。また、日頃より保護者とコミュニケーションをとるようにし、子どもの様子などを保護者と共有するように努め、今年度もクレームなく運営できている。</p> <p>勤務形態の多様化に伴い、今年度から平日の保育時間延長を実施し、また土曜日保育の希望者が増加傾向にあるため、保育時間の延長について検討課題としている。</p> <p>学童祭りは、27回を数え、保護者の協力のもとに、地域や行政の方々に学童を知っていただく良い機会になった。また、地域の保育園、老人福祉施設への訪問を行い、交流を図っている。</p>		
10. 自主事業の実施	評価	B 適正
<p>該当事業なし</p>		
11. 経費節減	評価	B 適正
<p>今年度も児童に節電、節水を呼びかけ、指導員とともに資源を大切にするように取り組んでいる。</p> <p>修繕や備品購入の際には必ず事前に見積もりをとり、父母会で適切かどうかについて協議している。今年度は、人件費が増加を予測し、備品の購入はできるだけ控えたことで、黒字での繰り越しとなっている。</p>		
12. 環境への配慮	評価	B 適正
<p>適切な設定温度での冷暖房利用や、ベランダによらずをかけて日陰をつくるなど、工夫することで節電に心がけている。</p>		

13. 利用者への情報提供	評価	B 適正
<p>学童だより月数回を発行し、保護者・関係機関に配布し理解を求めている。 学童祭りの実施については、広報「みやしろ」への掲載や手作りポスターの掲示で、町民に情報提供を行っている。入所希望者募集については就学時健診や入学説明会において説明し、関係書類を配布し、また問合せに随時対応している。</p>		
14. 会計管理	評価	B 適正
<p>補助金・保育料収入は、当法人会計とおやつ行事等会計とに分け、適正に管理している。 NPO理事、父母会役員、常勤指導員、事務職員、父母会会計での予算の執行状況について確認し、当初予算との比較からその後の経費支出についての方向性を確認して進めている。 人件費については、常勤指導員1名増員分をパート指導員の勤務時間調整を行うことで削減へ努め、予算内で執行することができた。</p>		